

地域企業・地元指導者との連携による学校花壇作り 「花いっぱい为学校にしよう」

作成者：GAちば・花緑の会 山口まり

■ 対象者・人数：小学生中高学年～中学校

1クラス30～40名

■ 所要時間：1回45～90分 ※年間を通じて管理

■ 指導者・アシスタント人数：

指導者1名、アシスタント1～5名

(参加人数・学年により変更)

■ 対象場所：学校花壇 地域の花壇 児童館花壇等

佐倉市教育委員会・シンジェンタジャパン株式会社の協力により佐倉市内の花育活動を希望する小中学校と共に年に1回活動を行っている。(苗の提供：シンジェンタジャパン株式会社)



■ 資材

- ・大型スコップ
- ・レーキ
- ・シャベル (移植ゴテ)
- ・紐 (麻紐やビニール紐)
- ・割り箸や小枝
- ・元肥 (緩効性化成肥料)
- ・堆肥・腐葉土 (土壌改良用)
- ・その他 (手袋・手拭タオル・汚れても良い服装)
- ・ラベル (植物名の表示)
- ・培養土・鉢底用の土 (鉢・プランター植えの場合)



レーキ



スコップ



シャベルと培養土

■ 花材

- ・パンジー・ビオラ (秋～春花壇)

■ その他必要な道具等

- ・水やり用ホースorジョウロ
- ・メジャー
- ・土壌酸度測定器、又は、酸度測定キット
(用意が可能であれば) (グラウンドの近くでは、石灰によってアルカリ性になっている可能性がある)
- ・掃除道具



ビオラ

【指導内容と目的】

- ・花壇や空き地に花苗を植え、花が生長し花を咲かせることにより、その場が美しく・心地良い環境に変貌することへの実感とその必要性を感じて欲しい。
- ・花壇作りのために、生徒が力を合わせて計画を立て、日々の花がら摘み・水かけなどの維持・管理をすることにより、植物が生長し、美しく花開くことの喜びを感じさせたい。
- ・花への親しみが増すことにより、日々の暮らしの中でも継続的に花への興味を持って欲しい。
- ・学校や地域が花により美しくなり、みんなの安らぎや潤いの場所になるばかりでなく、地域の人たちとのコミュニケーションの場にもなる。
- ・大人数で力を合わせての管理作業になるので、スムーズに進めるためには、話し合い・共同作業・役割分担が必要となる。
- ・花の提供社(者)や、植え付けなどの指導者(花育アドバイザー)とのふれあいにより、花壇づくりにさまざまな人たちが関わっていることを知ってほしい。
- ・花壇の設営から関われる(長い場合は数年)ので、植物の生育・管理等の過程を理解できる。
- ・花壇作りには目的やテーマが必要であることを認識できる。
- ・植栽デザインを計画することで植物知識の向上や創造力が豊かになることが期待できる。
- ・より良い生育の環境を整えるための土作りを学ぶ。
- ・日々の観察(水切れ・枯葉や花ガラ・病虫害の発生)の重要性を知る。
- ・美しく花壇を維持するため(心地良い花壇)のメンテナンスの重要性を知る。
- ・花壇以外への発展・活用も考える。
地域への開放：オープンガーデン→おもてなし。
植物の利用：切花をアレンジや、押し花をしてプレゼントする。
種子の採集と次年度への引継ぎ。

【対象者への配慮】

- ・クラス単位等大人数で行うと、共同作業に参加しにくい児童・生徒もいるので、事前に担任や担当者と協議し参加しやすい環境を整える。
- ・参加者が、平等に作業や発言できるよう心掛ける。
- ・指導者やアシスタントは、作業中にあまり手を貸さず、児童・生徒に作業をさせる。
- ・作業の組み立ての計画もさせるとよい。
- ・土起こし等の力のいる作業は、大人があらかじめ行ったり手伝いをしてもよい。
- ・汚れても良い服装とガーデニング用手袋や軍手を持参させる。
- ・花壇は、中に入らなくても手が届く範囲の幅が良い。
- ・花壇の幅が広い場合は、作業範囲に合わせて、通路を設定して確保しておく。
- ・全員が参加できない作業では、待機しているグループは座って順番を待つようにする。

1.事前の準備

■主催者や学校等との協議

- ・花壇の設営場所（学校・地域）との協議（作業工程・年間作業計画等の提出）
- ・学年、参加人数、活動時間（授業・課外活動・クラブ活動等）、実施時間の確認。
- ・屋外での作業の為、実施は天候に左右されるので、予備日の設定をお願いします。
- ・資材・備品の確認（肥料、スコップ、シャベル等）
- ・経費の確認
- ・参加学年、人数の確認
- ・ゴミ処理の方法の確認（残土や花ガラ、ビニールポットやトレー等）
- * グランド脇の花壇では、ライン引き用に使用した石灰の影響を受けアルカリ性になっている場所があるので、可能であれば土壌を酸度計で測定し、土壌酸度を調整しておく。

■生徒と共に活動

（①～④の過程では、生徒がどの項目に参加するかは、学校や主催者と協議する。時間の制約、道具類の調達、作業の軽重等による）

- ①花壇の設営場所の決定（予め決められた場所か、任意の場所を選んでも良いか）
- ②花壇の調査（広さ・環境：建物・道路・樹木の位置や四季の日当たり条件等・土壌）
- ③調査を元に生徒とともに花壇の計画を立てる（出来れば1年間）

- ・花壇に植え込むまでの作業工程づくり
- ・花壇と周囲の環境をあわせたデザイン・植栽デザイン
- ・花苗を植えられる状態にするため、除草、土作りを行う
- ・花壇の縁取りや植栽位置の印付け（割り箸と紐を使う）

④資材の発注

- ・面積から必要量を算出し、肥料・堆肥等を発注。

⑤植物の選定と発注

- ・花苗を購入する場合は、生徒の希望を聞きながらも、なるべく地域で生産されている種類がよいが、市場から調達する場合は産地等を教えてもらう。
（生産現場を見学に行けるし、花苗に親しみが湧く）
- ・寄贈いただく場合は、種類・品種・色等について確認しておく。
- ・数量は、16～25株/m必要

⑥植物についての学習→座学

- ・パワーポイント等でスライド、紙芝居等を作り、人と植物の関係や植物が必要な意義・生長過程・植え込む花苗について学習し、参加する生徒に共通の知識とする。
- ・この折に、実際に植え込む際の注意（ポットからの抜き方、根鉢の扱い方、植え付けの方法）を、花苗を使いながら説明する。
- ・参加する年齢により、講義内容を吟味する。



2.当日の流れ(学校花壇へ植え付け例)

- ・時間（所要時間）10：20～12：00等（授業の2時限分）

<植物についての学習>

パワーポイント資料を使って説明する。

<パワーポイント資料>



①表紙



②指導者自己紹介



③身近な場所での花飾り



④花の名前クイズ



⑤どうして花を植えるのか？



⑥花が飾られてる場面を考えよう

学校の中にも飾られているね

廊下



来客受付



少しくらいイメージの廊下でも花が飾られていると明るいイメージですね。
 お客さまをお迎える、受付にはお花を飾ることが多いです。お客さまを気持ちよくお迎えしましょう。

⑦学校ではどんなところに飾られているだろうか？

家の中にも飾られているな？

リビング



玄関



家族団らんの中心になる場所。食事をしたりお話をしたり楽しい場所に花を飾ると会話ははずみます。
 家の入口、玄関には季節の花を飾ることが多いです。お正月には気持ちも新たに縁起がよいとされる松や梅、菊などを飾ります。

⑧家の中で飾られている場所を考えてみよう

ビオラのマメ知識① ビオラは食べられる??

無農薬で育てられた専用のビオラは、食用として売られていて食べることができます。



サラダとして飾りにのせる



ビオラのゼリー

⑬ビオラのマメ知識

ビオラのマメ知識② ビオラの花をよく見ると!

一つ一つの花をよく見てみましょう。なんだか、顔に見えませんか??







⑭ビオラのマメ知識
ビオラの花を良く見てみよう

花や植物には どんな効果があるのかな？

心をリラックス

短時間の園芸作業は、心をリラックスさせ、特に花のある植物の世話をするとその効果が高い。

花の香で癒される

ジャスミンは幸福感をもたらす、ラベンダーは、怒りの感情を抑える効果があります。

疲れを回復

植物を見ることで目の疲れの回復を助けます。植物が身近にあると快適な環境が生まれます。

緑化でエコ

夏の暑い時期は、緑のカーテンや壁面緑化などで室内の消費電力を軽減できます。

出典：財団法人日本花普及センター「花と緑の7つの効用」

⑨花や植物の効果

今日植える植物の特徴を 見てみよう

ビオラ

- ・ スミレ科
- ・ 原産地：北ヨーロッパ
- ・ 開花期：10月頃～5月頃



⑩ビオラの特徴

ビオラのマメ知識③ スミレ

日本には、たくさんのスミレがあります。ビオラと同じ仲間です。形が似ていますね。




スミレ Viola mandshurica (満州産の)

⑮ビオラのマメ知識
スミレのいろいろ

「ビオラ」もの知りクイズ! Q：ビオラの種は、どれでしょう？



ナスタチューム



正解 ビオラ



ひまわり



マリーゴールド



アサガオ





コスモス

⑯ビオラもの知りクイズ
種はどれだ？

ビオラの特徴

- ①パンジーに比べて花や株が小さいものをビオラと呼んでいます。
- ②丈夫で育てやすい。たくさんの花が咲きます。
- ③花色が豊富。緑系以外はすべてそろいます。

⑪ビオラの特徴

ビオラを育ててくれた人

大きな温室で、7～8月にタネをまき愛情をこめてそだててくれています。




佐倉市臼井の石井園芸さん

⑫ビオラを育てた生産者さん

「ビオラ」もの知りクイズ!

Q：昔、スミレの花は遊び道具としても使われていたそうです。どのような遊びをしていたでしょう？

2つの花を絡ませて引っ張り合い、勝ち負けを競う遊びなどに使われ、スモウトリグサと呼ばれていた



⑰ビオラもの知りクイズ
昔のあそび

さあ！みんなで育てよう!

花壇やプランターに植える ～用意する物～



土 (培養土)




肥料



※プランターに植える場合
プランター



シャベル



軍手又は手袋



ジョーロ


⑱用意するもの

〈ポット苗の植え方〉

①花壇に苗のビニールポットがはいるぐらいの穴をシャベルで掘ります。

②ポット苗をもって、葉と茎のところをやさしくにぎります。

③茎をしっかり押さえてポットの底を指で押し抜いて取り出します。




⑱ポット苗の植え方

〈植え終わったら水をあげよう〉

④花苗の株もとまでしっかりと培養土をいれます。

⑤植え終わったらたっぷりとジョウロで水をあげましょう。

花や葉にはかからないように水をかけましょう



⑳水やり

〈植えた後の手入れの仕方〉

花がら摘み 肥料をあげる

咲き終わった花は、茎から摘み取ります。

春までの間、次々にたくさんの花を咲かせます。花を咲かせるために必要な栄養をあげましょう。



㉑手入れ方法

〈大事に育てた花を使ってみよう〉

コップや花びんにかざる 押し花

春に、たくさんの花が咲いたら長めに茎をきってコップに飾ってみましょう。

たくさんきれいな花がさいたら押し花にしてみましょう。オリジナルのカードやしおりを作ってプレゼントしよう。



㉒育てた花の楽しみ方

次の時間は、外でビオラを植えます。

わからないことがあったらお花の先生に聞いてみよう。



㉓おわり

2.当日の流れ(学校花壇への植え付け例)

- ・時間 (所要時間) 10:20~12:00等 (授業の2時限分)
次の授業を考えて、授業終了の10分前には全作業を終了する
- ・予め、生徒の役割分担を決めておき、作業をスムーズに進める。
(担任や生徒と協議)

■ 具体的な手順

花壇付近に集合し、今日の手順と諸注意を再確認する。
(生徒は、座って話を聞く)
必要な道具類の準備と確認。



■ 当日の花壇の準備

- ・開始1時間ほど前に、講師・アシスタント集合
資材搬入後にミーティングを行い手順等の最終確認を行う。
花壇等の植える場所を事前に確認して、土の状態や大きな石が無いかを見て土を平らにならしておく。

苗の配置を考えて、アシスタントは苗を配しておく。

※色をグラデーションにしたり、模様をつけるなど工夫をするとよい。



■ 花壇植え付けの具体的な手順

花壇付近に集合し、今日の手順と諸注意を再確認する。
(生徒は、座って話を聞く)
必要な道具類の準備と確認。

デザインに添って、紐で場所割り、畝立て等行う。
デザインに添って、花苗を配置する。
再度、花苗の扱い方、植え方について実技を交えて説明する。



■ 植え込み開始

- ・ 予め、植える位置と一人当たりの株数を決めておく。
- ・ 全員で1度に作業できないときは、作業順も決めておく。
- ・ 待機者は、座って全員が終わるのを待つ。
- ・ 植え終わったら、水やりを行う。
- ・ 水やりの間にビニールポットの廃棄、使用した道具類を水洗いして片付ける。



<プランターや鉢に植え付ける場合>

植え付け方法について先生からの説明を聞く

- ・ 一人一鉢を手元に用意する。(5号鉢以上)

植え付けの手順の説明

(鉢底土と植え土が必要なこと)

鉢・プランターに植え付けるときの注意

水しろを取ること(根株の高さ)

植え土はしっかり入れること

- ・ 順番に鉢底用の土をもらう。

鉢底の土の量に注意する

元肥として緩効性化成肥料を鉢底土の上に入れておく。

(または、最後に鉢土の表面に施す)



ビオラの苗を、一人1株受け取る。

ポットから苗の抜き方、根鉢の扱い方の説明
根元の高さ(水しろ分)の確認

予め植え土は、作業しやすい位置に配置しておく。



植え土が根鉢の周りにしっかり入るように指導し、植え付ける。

鉢土の表面は平らにならす。

植え付けが終わったら、鉢底の穴から抜け出るまでしっかり水をやる。

■ 指導ポイント

- ・ 花の名前を知らない場合もあるので、画像や実物を用意して説明する。
(まだ、植物に関する経験が少ないので、言葉だけでは想像ができない)
- ・ なるべく園芸用語を使わず、作業過程などを説明する。
- ・ やむなく園芸用語を使うときは、平易な言葉で説明する。
- ・ 言葉や画像だけでなく、作業の実際は、実物を使っての実践を見せる。
- ・ なぜその作業をするのか、作業の意味を具体的に説明すること。
- ・ 花壇を美しく長く維持していくには、日々の管理が必要なことを伝える。



■ 所要時間や配分

| | |
|-----------|---|
| 開始60分前 | ①集合・学校や主催者への挨拶・打合せ 使用する花壇の確認・花苗の確認 |
| ↓ | |
| 10分 (10分) | ②生徒集合：挨拶（講師・アシスタント自己紹介） 作業についての諸注意 |
| ↓ | |
| 20分 (10分) | ③グループに分かれて、手分けして準備を行う 作業に必要な道具、花苗を花壇近くに運搬 デザインの目安付け（ライン取り）等 |
| ↓ | |
| 30分 (10分) | ④デザインにあわせて、畝立てや通路を確保する |
| ↓ | |
| 35分 (5分) | ⑤植え込み予定の花苗を設置する 全体を眺めさせ、デザインや配置の確認をさせる |
| ↓ | |
| 40分 (5分) | ⑥植え込みを前に、再度、花苗の扱い方と植え込み方を実物を使って 説明し、植え込み方も実演する |
| ↓ | |
| 60分 (20分) | ⑦植え込み開始 ゆっくり丁寧に植え付けるよう指導する |
| ↓ | |
| 70分 (10分) | ⑧植え込みが終了したところで、全体を眺めさせる 植え込む前に設置した花苗の位置との相違や、植え方の技術を見る |
| ↓ | |
| 80分 (10分) | ⑨グループに分かれて水やり、道具類の片付け、ゴミの片付けを行う |
| ↓ | |
| 90分 (10分) | ⑩今後の管理について、説明する ⑪終わりの挨拶 |

30分 (30分) ⑫最終的な片付け、スタッフ・教師・主催者等終了ミーティング

■ 植込み以降の関わりあい

- ・花壇を美しく維持していくための必要な作業を生徒と考え、管理計画を立てる。
(水やり・花ガラ摘み・病虫害の被害・切り戻し等)
- ・出来れば、植込み後も1～2ヶ月に1度、生徒の相談や作業指導に関わるようにする。